

国立大学法人 筑波技術大学  
障害者高等教育研究支援センター  
「障害者高等教育拠点」事業

本センターは、文部科学省より教育関係共同利用拠点  
「障害者高等教育拠点」として認定を受けています。



国立大学法人  
**筑波技術大学**  
National University Corporation  
Tsukuba University of Technology

令和5年度

全国の高等教育機関の教職員を対象とした  
FD/SD研修会開催報告

**お問い合わせ先**

国立大学法人 筑波技術大学  
障害者高等教育研究支援センター  
障害者高等教育拠点事務局  
事業ホームページ: <https://krk-ntut.org/>  
E-mail: [krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp)  
〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15  
TEL/FAX: 029-858-9483

# 全国の高等教育機関の教職員を対象としたFD/SD研修会

令和5年8月1日開催(オンライン)

第13回FD/SD研修会

「聴覚・視覚障害学生に対する筑波技術大学の学内外支援  
～コロナ禍を経て変わるもの・変わらないもの～」

## 発表1

「聴覚障害学生に対する情報保障を中心とした修学支援に関する大学等の取組」

宇都野 康子(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)

## 発表2

「視覚障害学生のための学修資料のメディア変換～簡単にできるテキストデータ～」

石川 恵理、納田 かがり(筑波技術大学 視覚障害系支援課技術係)

野澤 しげみ(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)

## 情報交換会

各参加者は申込時に指定したグループ(聴覚障害又は視覚障害)に参加し、  
3グループで実施(聴覚障害2グループ、視覚障害1グループ)

## 【開催報告】

本研修会の第1部では、聴覚・視覚障害学生の修学環境整備について発表を行ったほか、第2部として聴覚障害2グループ、視覚障害1グループで情報交換会を行いました。第2部では、各大学における支援状況や方法について共有いただきました。

その後、支援や対応方法等についての質問もあがるなど、活発な情報交換が行われていました。各グループには本事業のスタッフも参加し、ご参加いただいた皆様と課題の共有を行うことができました。

情報交換会後の時間には、各グループでお話しいただいた内容をご発表いただき、参加者全員で情報共有を行うことができました。

終了後に実施したアンケートでは、「各大学での取り組みを聞いて参考になり、自分でもできることが見つけられた」「障害を持つ学生の受入れに際して、適切な対応を取るための方向性や見通しが確認できた」というご回答をいただきました。

# 全国の高高等教育機関の教職員を対象としたFD/SD研修会

令和5年12月5日開催(オンライン)

## 第14回FD/SD研修会

### 講演

「プリント・ディスアビリティの学生に対する教科書、読書の支援」

宮城 愛美(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)

青木 千帆子(筑波技術大学 共生社会創成機構)

### 相談対応事例

「聴覚障害学生が受講する体育・スポーツ授業等における支援・配慮」

中島 幸則(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)

「サポート学生養成に関する相談事例」

宇都野 康子(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)

### 情報交換会

各参加者は申込時に指定したグループ(聴覚障害又は視覚障害)に参加し、6グループで実施(聴覚障害2グループ、視覚障害4グループ)

## 【開催報告】

本研修会の第1部では「プリント・ディスアビリティの学生に対する教科書、読書の支援」をテーマとして講演を行いました。講演では本事業で視覚障害学生の修学支援に関する相談に対応している宮城より本学における教材や書籍の提供の状況、本学で取り組んでいるメディア変換事業について説明をいたしました。次に本学の共生社会創成機構の青木より国内や海外における状況、今後の展望について話題提供を行い、講演及び話題提供の内容を踏まえて講師2名によるパネルディスカッションを行いました。

また、本事業で他大学からのご相談に対応してきた事例をご紹介いたしました。聴覚障害学生が受講する体育・スポーツに関するご相談と提供したアドバイスを3件、パソコンノートテイクを担う学生の募集・養成に関するご相談から教職員や学生を参加対象としたイベント開催に繋がった事例を1件ご紹介いたしました。

第2部では、視覚障害4グループ、聴覚障害2グループで各大学における支援状況や方法について共有いただきました。各グループには本事業のスタッフも参加し、皆様と課題の共有を行うことができました。

## 障害者高等教育拠点について

全国の高等教育機関で学ぶ聴覚・視覚障害学生の教育アクセシビリティの向上とイコールアクセスの保障を目指し、障害特性に応じた教育方法・支援に関する知的・技術的リソースを提供します。

本事業の活動の一環として、全国の高等教育機関の教職員を対象としたFD/SD研修会や「聴覚・視覚障害学生の修学支援に関する相談会」を開催しています。

## 令和5年度の実績

### FD/SD研修会

第13回FD/SD研修会 令和5年 8月1日開催(オンライン) 参加者:44名(30大学)  
第14回FD/SD研修会 令和5年12月5日開催(オンライン) 参加者:137名(132大学)

### 聴覚・視覚障害学生の修学支援に関する相談会

【開催日】

第1回 令和5年 6月 8日  
第2回 令和5年10月30日  
第3回 令和6年 2月 8日

【実施方法】

相談対応時間は1枠1時間

◆事業担当者と申込者をZoom機能の  
ブレイクアウトルームに招待し、個別に相談対応

「障害者高等教育拠点」事業では、令和6年度も全国の高等教育機関の教職員を対象としたFD/SD研修会、「聴覚・視覚障害学生の修学支援に関する相談会」を開催いたします。FD/SD研修会の内容は、本事業の活動を通して得られた成果、支援事例の共有を目的とした企画を行う予定です。

また、本事業で作成しているコンテンツの活用事例の紹介と併せて参加者同士の情報交換を目的としたワークショップを開催予定です。

研修会等の開催については、本事業ホームページ、本事業が運営するメールマガジン等でご案内いたします。